

# 国際学術コミュニケーション委員会報告

## GIF プロジェクト活動報告

### 1 GIF プロジェクト会議等開催状況

- ・日米 ILL/DD に関し、特に OCLC のシステム更新に伴うシステム停止問題について電子メール等による協議、意見交換を行った。
- ・平成 17 年 7 月 19 日 NCC の事務局長である Bestor 氏の来日を機に 2006 年サンフランシスコで開催予定の日米 ILL/DD ミーティングの事前打合せを行った。

### 2 活動概要

#### (1) 日米 ILL/DD プロジェクト

##### GIF プロジェクト参加状況

参加機関数は平成 17 年 10 月 1 日現在で日本側 100 機関、111 図書館（内訳：国立大学 61 機関 72 図書館、公立大学 3 機関 3 図書館、私立大学 32 機関 32 図書館、大学共同利用機関 4 機関 4 図書館）、北米側 45 機関、48 図書館であり、平成 17 年 6 月以降日本側 6 機関 7 図書館の増加となっている。

##### 現物貸借サービス参加状況

平成 15 年 8 月 1 日から開始した現物貸借サービスの参加状況は、平成 17 年 10 月 1 日現在で、日本側 49 機関、52 図書館（内訳：国立大学 37 機関 39 図書館、私立大学 10 機関 10 図書館、公立大学 2 機関 2 図書館、大学共同利用機関 1 機関 1 図書館）、北米側 25 機関 25 図書館であり、平成 17 年 6 月以降日本側 4 機関 5 図書館の増加となっている。

##### 日米 ILL/DD 実施状況

平成 17 年度の日米 ILL/DD の実施状況は、表 1 のとおりである。後述するように、OCLC のシステム更新の際に発生した ISO ILL サーバの障害が回復せず、日米 ILL/DD が機能しない状況が続いているため、利用件数が低くなっている。

表 1 日米 ILL/DD 実施状況（平成 17 年 4 月～9 月）

	依頼件数			受付件数		
	完了	謝絶	計	完了	謝絶	計
文献複写	162	106	268	66	108	174
現物貸借	29	34	63	11	62	73
合計	191	140	331	77	170	247

問題点としては、日本側受付分の謝絶が依然として多く、とくに現物貸借においては84.9%が謝絶となっている。この問題については、現在 2004 年の謝絶レコード分析を行っているところであり、来年 3 月の ILL/DD ミーティングまでに解決方策も含めて、分析結果をまとめる予定である。

#### OCLC ISO ILL サーバ障害による日米 ILL/DD の停止

OCLC のシステム更新に伴って発生した ISO ILL サーバの障害は、3 ヶ月を経過してもまだ回復しておらず、日米双方の大学図書館の ILL サービスに多大な影響を与えている。障害は 6 月 12 日に発生し、8 月 2 日に対応が完了したとの連絡を受けたが、OCLC-NII 間のシステムリンクだけが回復せず、現在に至っている。(「参考 OCLC ISO-ILL サーバ障害等の経緯」を参照。)

この間、OCLC の緩慢な対応と GIF 担当者の初動の遅れもあったが、このような長期にわたる障害は通常のシステムでは考えられないことである。現在 OCLC と NII とでテストを行っており、回復も近いと予測されるが、とくに痛感されるのが「代替サービス」の必要性である。日米の GIF 担当者との間で、以下のような代替サービスについて、合意を得るべく検討している。

- 1) 依頼方法：電子メール
- 2) 料金：無料
- 3) 送付方法：Ariel 又は EPICWIN
- 4) 対象：代替システムに対応可能な参加館（レンディングポリシーにその旨を記述しておく）

#### GIF プロジェクトと Global Resource Network との関係

北米では、GIF プロジェクトは ARL (研究図書館協会) のプロジェクトのひとつである Global Resource Network (GRN) のなかの Japan Project の活動と位置づけられている。ARL は今年 7 月の理事会において、2006 年 1 月から GRN の運営をシカゴにある Center for Research Libraries (CRL) に移管することを決定したが、このことについて北米の ILL 担当者から懸念が示されていた。

9 月に開催された日本研究資料調整協議会 (NCC) の会議においてこの問題が協議され、会議に出席していた土屋委員長より、GIF は既に通常業務として活用されていることから、今後は GRN の枠組みから外れて、業務ベースで取り組んでいくことが提案され、合意された。日本側は GIF プロジェクト、北米側は NCC の ILL/DD 委員会\*1 が日米の窓口として GIF の推進にあたることとなった。

#### 北米側のディスカッショングループの立ち上げとメーリングリストによる情報交換

北米側 GIF 参加館の間で、9 月 7 日に GIF に関するディスカッショングループ (NCC GIF Discussion Group: NCC-GIF@googlegroups.com) が立ち上げられた。

日米の円滑な情報交換を図るために、日本側メーリングリストに、マサチューセッツ大学図書館の Sharon Domier 及びアイオワ大学図書館の Chiaki Sakai の両氏を加えた。また、上述のディスカッショングループに井上委員が参加することになった。

## (2) 日韓 ILL/DD プロジェクト

### 暫定サービスの参加状況

平成 17 年 10 月 1 日現在、日本側参加館は、70 機関、88 館（国立 45 機関 59 館、私立 22 機関、25 館、大学共同利用機関等 3 機関、4 館）韓国側参加館は、226 館となっている。平成 17 年 6 月以降日本側で 4 機関 5 図書館が増加している。

### 日韓 ILL/DD 実施状況

日韓 ILL/DD は平成 16 年 11 月から暫定サービスが開始され、順調に利用が増えている。平成 17 年度の 6 ヶ月間で、日本からの依頼が 55 件、受付（韓国からの依頼）が 637 件となっている。謝絶率も低く、依頼が 1.8%、受付が 8.6%である。

表 2 日韓 ILL/DD 実施状況（平成 17 年 4 月～9 月）

	依頼件数			受付件数		
	完了	謝絶	計	完了	謝絶	計
文献複写	54	1	55	582	55	637

### 本格サービス及び現物貸借サービスについて

スケジュールでは、本年 10 月には暫定サービスから本格サービスに移行する計画であったが、KERIS 側の準備状況が把握できない状態が続いている。また、現物貸借サービスについても検討は進んでいない。NII からともコンタクトをお願いしているが、動きがない状況である。

## (3) 日米 ILL/DD ミーティング事前打合せについて

NCC 事務局長の Bestor 氏の来日を機に、平成 17 年 7 月 19 日に NII において、標記打合せを行った。打合せでは、NCC の ILL/DD 委員会について、2006 年 4 月にサンフランシスコにおいて開催予定の日米 ILL/DD ミーティングについて、及び日米 ILL/DD の謝絶状況について意見交換を行った。

## (4) 米国東アジア図書館日本資料委員会への対応

標記委員会委員長であるワシントン大学ヨコタ氏より、笹川委員に対して、日本資料委員会委員への就任の要請があり、受諾した。

## 3 今後の課題

- (1) 日韓 ILL/DD プロジェクトの本格運用、現物貸借の実施
- (2) 日米 ILL/DD の改善と国際 ILL 担当者のスキルアップ方策  
・長期のシステムダウン時の代替サービスについて
- (3) GIF 参加館の範囲の拡大について
- (4) 北米以外の国々との国際 ILL の展開
- (5) デジタルリソースの形成・流通に関する日米の連携・協力

\* 1 ) NCC の ILL/DD 委員会のメンバーは次のとおり

Sharon Domier (co-chair), East Asian Librarian, University of Massachusetts, Amherst

Carol Jones, Head of Interlibrary Loan & Document Delivery, Yale University

Lynne Kutsukake, Japanese Studies Librarian, University of Toronto

Perrin Joel Lumbert, Interlibrary Loan, Bates College

Kathryn Ridenour (co-chair), Head, Interlibrary Loan & Document Delivery, University of  
Massachusetts, Amherst

Chiaki Sakai, Japanese Studies Librarian, University of Iowa

参考 OCLC ISO-ILL サーバ障害等の経緯（9月末まで）

2005年

- 6月14日（火）
- ・OCLCより、6月11日以降のリクエストが処理できないとの通知。
  - ・OCLCより、6月14日から19日までISO ILLサーバ停止の連絡（障害の内容は、新規依頼が不可、既存リクエストのステータス変更不可、リクエストの操作不可）。
- 6月15日（水）
- ・OCLCより、ステータス変遷についての説明文書が来る。
- 6月20日（月）
- ・OCLCより、障害復旧が週末になるとの通知。
- 6月24日（金）
- ・OCLCより、障害が回復できていないとの通知。
- 6月28日（火）
- ・OCLCより28,29の両日に外部4サイトとの間でテストを実施し、うまくいくと30日にはサービスを開始できるとの通知。
- 6月30日（木）
- ・OCLCより、重要な対処はできたが、まだテストが続いているとの通知。
- 7月1日（金）
- ・OCLCより、テストを継続。7月1日にアップデートを実施するとの通知。
- 7月2日（土）
- ・OCLCより、テストを継続。7月5日にアップデートを実施するとの通知。
- 7月16日（土）
- ・OCLCより、テストの経過についての報告。OCLC-CISTI間ではテストが完了との通知。
- 7月26日（火）
- ・マサチューセッツ大学のSharon Domier氏より、障害が長引いているので、一時的な対応をする必要があるのではないか、との提案。
- 8月1日（月）
- ・OCLCより、8月2日に回復するとの通知。
- 8月9日（火）
- ・NIIより、8月2日に再開したが、障害がまだ残っているので、日米ILL/DDの運用を再停止したいとの連絡。
- 8月11日（木）
- ・NIIより、障害が回復していないとの連絡。
- 8月24日（水）
- ・NIIより、OCLCで8月20日、21日にISO ILLサーバの再構築を実施したが、障害が回復していないとの連絡。
- 8月31日（水）
- ・NIIより、8月31日にOCLCにおいて、障害対応を施す予定との連絡。
- 9月7日（水）
- ・OCLCより、システム変更についての包括的なリストをもっておらず、ISO ILLサーバは再構築したが、システムの変更は意図していなかったにもかかわらず、テストの結果変更されていたことがわかった、業者と問題解決方策を考える、についてはNII間でテストをしたいとの通知。
- 9月9日（金）
- ・NIIで紀伊国屋書店との打合せを行う。GIFプロジェクトからは井上東工大情報図書館課長が出席し、以下のことを確認。  
OCLCから今回の事態について公式文書を提出

紀伊国屋書店はあらゆるチャネルを使って解決にあたる  
メールによる代替案での対応

Mary Jackson とも情報共有

- 9月12日(月)
- ・Domier氏より、マサチューセッツ大学のKathryn Ridenour氏がOCLC 諮問会議のメンバーなのでOCLC に働きかけをするとの連絡。また、OCLC のサービスステータスをnon-supplier に変更して欲しいとの依頼。
  - ・GIF プロジェクトより、紀伊国屋にサービスステータスの変更を依頼。
- 9月13日(火)
- ・Domier氏より、NCC の会議でGRN のCRL への移管について議論されるとの連絡。
- 9月15日(木)
- ・GIF プロジェクトより、代替サービス案について米国側に提案。
- 9月16日(金)
- ・Domier氏より、OCLC がNII とコンタクトを取ろうとしているとの連絡。
- 9月20日(火)
- ・土屋委員長からNCC の会議においてGIF をGRN の枠組みからはずすことについて合意が得られたとの連絡。
- 9月26日(月)
- ・再開に向けてテストを開始。
- 9月28日(水)
- ・ILL 担当者へ現状について連絡。